

ちほめんNEWS

VOL.34

2019.3.25 近畿財務局京都財務事務所

ちほめんが「日本で最も美しい村」連合 近畿ブロックの連携を支援しました！



兵庫県香美町小代



奈良県吉野町



奈良県十津川村



奈良県曽爾村



京都府伊根町



京都府和束町

～「日本で最も美しい村」連合（通称「美しい村連合」）とは～
その土地でなければ経験できない独自の景観や地域文化を持つ全国
63(※)の町・村・地域が加盟している連合です。近畿地方では、上記
の6町村地域が加盟しています。 ※2018年1月現在

【今回の企画のポイント】

- 独自の景観を観光資源に、関西広域で府県の枠を超えた自治体間の連携を支援！
- 近畿ブロック会議の場を提供するとともに、具体的な連携事業を提案するなど、ちほめんが積極的に参加！

きっかけ

今回の取組は、京都財務事務所のちほめんが和束町を訪問した際のひとことがきっかけでした。

「当町は『日本で最も美しい村』連合に加盟しており、近畿地方でも他に5つの町村が加盟している。美しい景観という共通点を活かし、これらの町村とも連携事業を行いたい。しかし、離れていることもあり、交流機会も少なく連携が進んでいないのが現状」との声が聴かれました。

その声を受け、早速、ちほめんは近畿財務局を会場とした各地域の顔合わせ会議の開催を提案。

和束町や他の5町村からも、「ぜひ参加したい」と前向きな意見を受け、2018年11月30日（金）に近畿ブロック（6町村）の連携事業立ち上げに向けた「第1回 美しい村連合近畿ブロック会議」を開催することが決まりました。



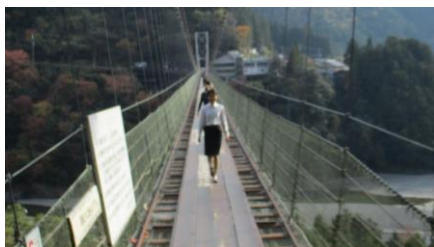
ブロック会議開催に向けて

この取組には、京都財務事務所だけでなく、各町村が所在する神戸・奈良財務事務所、舞鶴出張所、近畿財務局のちほめんが参画。限られた時間の中で有意義な会議の場となるよう、事前準備に取り掛かりました。

①各地域への事前ヒアリング

会議開催に当たり、外部の目線で**連携事業案を提案**すべく、ちほめんが分担して6町村を訪問しました。

各町村の取組状況や要望、連携に対するアイデア等についてヒアリングするとともに、現地の名所を訪問し、地域の実情を肌で感じました。



②ちほめん間でのミーティング

各地域に訪問した結果を持ち寄り、ちほめん間で情報交換、連携事業案の検討を行いました。

各地の**モノの交流**を図る「特産品を使ったお弁当作り（美しい村弁当）」のプランや、美しい景観を活かして**ヒトの交流**を図る「フォトスタンプラリー」を行うプラン等が意見として出ました。



2018.11.30 ブロック会議の様様

会議には6町村から10名の担当者が参加しました。

まず、**2019年6月27日～29日に吉野町**で開催される「**美しい村連合定期総会**」に向けた検討です。

「美しい村連合定期総会」とは毎年開催される当連合最大のイベントで、加盟している全国63町村から300名超に及ぶ参加者が見込まれ、**吉野町をはじめ近畿ブロックの取組をアピールする絶好の機会**です。

近畿ブロックで連携した取組が見込まれる案として、各町村の特産品を販売するブースの設置や、交流会における各町村の食材の提供等の意見が出されました。



香美町小代の担当者からは、ドローンを活用したPR強化など、実際に取り組まれている地域活性化事例の紹介がありました。



ドローンでの撮影風景

ブロック会議の様様（続き）

続いての議題は、近畿ブロックにおける今後の具体的な連携事業の検討です。

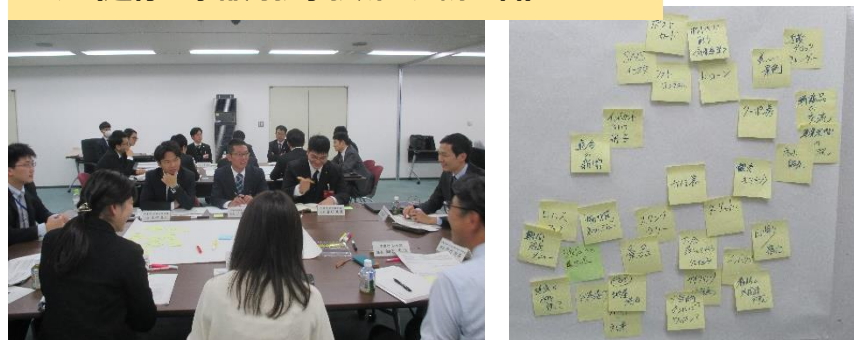
活発な意見交換を行うため、今回はワークショップ形式（2グループ）で実施し、コーディネーターを含め10名のちほめんが参加しました。

各町村の担当者が各地の魅力や課題を共有したほか、ちほめんは事前ヒアリングで感じたことやミーティングで検討した連携事業案等について発言しました。

A班（進行：京都財務事務所 木嶋企画係長）



B班（進行：京都財務事務所 芝調査官）



各地域の魅力を活かした様々な連携事業が提案され、実現のためにどのような作業が必要か、継続して観光に来てもらうためにはどのような工夫が必要かなど、短い時間ながらも多くの意見が出され、連携事業実現に向けた参加者の熱い想いが感じられました。

ワークショップで出された 連携事業案

○特産品を使ったコラボ商品（弁当等）の開発

- ・その町村にないものを他の町村で補って一つの商品を作り、道の駅やインターネットで販売。
- ・まずは、各町村の食材を用意して料理コンテストを開催してはどうか。コンテストでの発案が弁当開発のきっかけになる可能性があり、イベントとしても話題性がある。

○スタンプラリー

- ・各地域を周遊してもらうことができ、比較的取り組みやすい。
- ・全地域達成した際の景品を、各町村の特産品詰め合わせやポストカードとしてはどうか。

○季節ごとに各町村をめぐるパッケージツアー

- ・春の吉野町、秋の曽爾村など季節ごとに各町村をめぐるパッケージツアーを作る。
- ・食べ物のツアーも人気が高いため、食事（上記、コラボ商品など）も提供。

○各地域で撮影した写真でつくるカレンダー

- ・各地域の「旬」な時期に撮影した写真を使用し、カレンダーを作成。



ブロック会議参加者の声



- 財務局が音頭を取ってくれたおかげで、今まで会場の選定や予算面等で開催できていなかった会議を開催することができた。会議や交流会を通して財務局職員や自治体間との交流が深まり、今後の活動に良い影響を与えてくれると感じている。
- ちほめんが各町村の意見を事前にヒアリングし、会議が円滑に進むよう調整してもらった。当日の活発な意見交換につながり、大変感謝している。
- ちほめんもワークショップに参加してもらったことで、町村担当者だけでは出ないような客観的な意見がもらえた。
- ちほめんが熱心に動き、親身になって話を聞いてもらったので、大変良かった。
- 近隣の加盟町村と繋がりを持ちたいと、前々から思っていたので、今回会議の場を用意していただけて有難く思っている。



最後に

会議に参加した各町村の担当者は初対面同士の人もいて、また、それぞれの団体が置かれた環境も違うため、どのような会議になるのか不安がありました。

特に、ちほめん2名が進行を担当した「今後の具体的な連携事業案の検討」では、固い雰囲気となり議論が進まないのではないかとといった不安もありましたが、参加者の協力もあって、活発な意見交換となりました。

参加者からは多くの感謝の声があり、参加したちほめん一同非常に嬉しく感じています。

しかし、「美しい村連合 近畿ブロック」の取組はスタートラインに立ったばかりです。この取組が継続し、各町村が連携の成果を得られるよう、ちほめんは今後もお手伝いしていきます！



地域活性化に関するご要望がございましたらお気軽にお問い合わせください。

近畿財務局京都財務事務所 総務課企画係

075-752-1417

近畿財務局 総務課企画係

06-6949-6390

kinzaikikaku@kk.lfb-mof.go.jp

ちほめんNEWSのバックナンバーは以下のURLからご覧になれます。

<https://lfb.mof.go.jp/kinki/chiiki.html>